

東奔西走

「葛城市の二輪菊は日本一の生産量」。市職員を勤めながら、市内の小中学校などで地元の特産品や産業、農業を紹介する「葛城市のステキ発見」出前授業をしている。教職を目指したことがあり、子どもに教えるのが好き。ギャクもちりばめた授業は「地元のごとがよく分かる」「楽しく学べる」と好評だ。

地元出身で新庄町役場に就職。町職員、合併後の市職員として産業や農業の仕事にたずさわり、「地元」にキラリと光る技量を持つ隠れた人材が多い」と気付いた。その

人たちに光をあてるのが市職員としての使命だと思ったという。大ヒットとなったモグラ掘り名人や、ジャム作り、白キユウリ作

り、しめ縄作りなど、これまで発掘した名人は六十一人。ネット販売で全国に進出したり、講演会の講師を務める名人もいて、大きな

経済効果をあげている。休日を利用して市内を散策し「ステキ」を探し出す。布施城跡の整備、清掃をする市民グループ

「山里を愛する者の集い」会員や地域の情報を発信する「きてみて



「山里を愛する者の集い」会員や地域の情報を発信する「きてみてネット」の通信部デスクとしてボランティア活動にも精を出す。

四月に誕生した市商工観光課の一員。「葛城市の良さを多くの人に知ってもらい、市を愛する人が多く増えれば」。

笑顔が「ステキ」な三十歳代だ。

(に)しかわ・よしひこ
葛城市協田

葛城市の魅力を伝える

西川 好彦さん (35)